

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人日本医療大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
保健医療学部	看護学科	夜・通信	0	0	87	87	13		
	リハビリテーション学科 理学療法専攻	夜・通信		42		49	91	13	
	リハビリテーション学科 作業療法専攻	夜・通信				55	97	13	
	診療放射線学科	夜・通信		0	61	61	13		
	臨床検査学科	夜・通信		0	103	103	13		
	臨床工学科	夜・通信		0	18	18	13		
総合福祉学部	介護福祉マネジメント学科	夜・通信	0	5	24	29	13		
	ソーシャルワーク学科	夜・通信			20	25	13		
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml 「シラバス」
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由) 該当なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人日本医療大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ ・ https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=140 「事業報告」 ・ 事業報告書

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 代表取締役	2022.4.1～ 2024.3.31	組織運営体制への チェック機能
非常勤	株式会社 代表取締役	2022.4.1～ 2024.3.31	組織運営体制への チェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人日本医療大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>授業科目、授業の方法等については、教務委員会及びカリキュラム委員会において検討し、全ての学科の授業の概要、対応するDP、到達目標、授業計画、成績評価方法、教科書・参考文献、授業時間外学修(予習・復習)の内容・分量、実務経験者を明記したシラバスを作成している。</p> <p>シラバスは、前年度末までに作成し、ポータルサイト及び大学HPにも掲載している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml 「シラバス」
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>成績評価方法は、筆記試験、提出物、技術試験、確認テスト、グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッション、レポート課題等をシラバスに明記して学生に周知し、厳格かつ適正に評価して単位を認定している。</p> <p>成績評価の基準は、学修成果に基づき、成績[AA(秀)A(優)B(良)C(可)D(不可)]により判定している。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価において、全ての学科でGPA制度を導入していることを「CAMPUS GUIDE2022」で学生に周知するとともに、学生表彰（HPに登載）を行う際にも活用している。

各学生の成績が、学生の所属する学科の中でどの位置にあるかを把握することができるよう、各学生の履修科目の平均成績を客観的な指標（GPA）を用いて表している。

GPAは、評価基準に基づく成績を一定の数値に換算し、各学生の単位数や履修登録単位数を勘案して算出している。

学生が学年ごとに適切に学修できるよう履修の上限単位（CAP制）を導入している。

(評価と計算方法)

本学のGPAは履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出する方法であり、GPに該当科目の単位数を乗じて合計し、総単位数で除して履修した科目1単位あたりの成績平均点を算出します。計算結果は小数点第3位を切り捨てて表記します。

成績評価は90点以上を「AA」、80点以上を「A」、70点以上を「B」、60点以上を「C」、60点未満を「D」の5段階の評語をもって表しています。

また、GPは「AA」は4.0、「A」は3.0、「B」は2.0、「C」は1.0、「D」は0.0です。

計算式：GPA = [GP×単位数]の総和 ÷ 総単位数（小数点以下第3位を切り捨て）

【評価基準】

評点	区分	成績評価	GP
100～90点	合格	AA	4.0
89～80点		A	3.0
79～70点		B	2.0
69～60点		C	1.0
59点以下	不合格	D	0.0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

「CAMPUS GUIDE2022」に搭載

https://www.jhu.ac.jp/common/img/content/content_20220614_130434.pdf

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

学科ごとにDP（ディプロマ・ポリシー）を策定し、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中にDPに定めた資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える旨をシラバス（HPにも掲載）に明記している。

卒業認定については、教務委員会において検討し、教授会に意見を求めたうえ学長が決定している。

[ディプロマ・ポリシー]

<保健医療学部>

【看護学科】

看護学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、対象者に必要な看護を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、看護学を発展させる能力

【リハビリテーション学科】

リハビリテーション学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
- 4-1. 対象者の運動機能を改善するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な理学療法を提供できる能力（理学療法学専攻）
- 4-2. 対象者の主体的な生活を支援するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な作業療法を提供できる能力（作業療法学専攻）
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、看護学を発展させる能力

【診療放射線学科】

診療放射線学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、放射線の画像診断と放射線治療を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、診療放射線学を発展させる能力

【臨床検査学科】

臨床検査学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下

の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、良質な臨床検査を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、臨床検査学を発展させる能力
6. 臨床検査室の品質マネジメントシステムの構築及び実践できる能力

【臨床工学科】

臨床工学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 相手を思いやる豊かな人間性を有し、科学的な思考力を基に共生社会の発展に貢献する資質
2. 適切なコミュニケーション能力、協調する力を身につけ、常に患者を意識し他職種との医療従事者と連携・協働ができる能力
3. 臨床工学の専門的な知識や技術を身につけ、多様化・高度化する医療機器の適切な操作や安全に管理できる能力
4. 工学的な研究の基礎を身につけた能力
5. 生涯にわたり自己研鑽する意欲と自己学修力を身につけている

<総合福祉学部>

【介護福祉マネジメント学科】

介護福祉マネジメント学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人間を尊重する態度と高い倫理観を養い、人間を統合的な存在として理解する能力を身につける
2. 利用者のアセスメントから生活課題を明らかにして、介護計画を作成、実施、評価ができ、それを他の介護職に指導できる能力を身につける
3. 介護計画の作成・実施において、多職種等と協働して支援する能力を身につける
4. 介護職員のリーダーとして、チームで介護業務を遂行していくことができる能力を身につける
5. 社会福祉施設・医療機関等の運営管理、サービスの維持や開発に関わることができる能力を身につける

【ソーシャルワーク学科】

ソーシャルワーク学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人間を尊重する態度と高い倫理観を養い、人間を統合的な存在として理解する能力を身につける
2. 保健・医療・福祉・介護・就労・教育等に関わる専門的な知識や技術に関する能力を身につける
3. 利用者主体の生活支援として、ソーシャルワークの展開過程を実施できる能力を身につける
4. 利用者やその家族等の生活課題をアセスメントし、支援計画を作成・実施（個別支援・集団支援）する能力を身につける
5. 地域の生活課題をアセスメントし、支援計画を作成・実施（地域支援）する能力

を身につける

6. 個別支援・集団支援から地域支援へ、地域支援から個別支援・集団支援への連続した支援ができる能力を身につける

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml>「シラバス」

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人日本医療大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=140
収支計算書又は損益計算書	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=140
財産目録	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=140
事業報告書	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=140
監事による監査報告(書)	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=140

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページによる https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=121
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページによる) https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=121 「学則」 https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml 「シラバス」
(概要) 「学則」 〔目的〕 本学は、教育基本法及び学校教育法並びに建学の精神に基づき、深く専門の学術を教授及び研究し、人間尊重を基盤とした医療人を育成して、社会の発展に寄与するとともに人々の健康及び生活の向上に貢献することを目的とする。 〔保健医療学部及び学科の教育上の目的〕 生命の尊厳の理念に基づき、豊かな感性と教養で人間性を高め、高度な知識と技術を学修し、倫理的及び論理的な実践力で、地域医療に貢献する医療人を育成する。 「シラバス」 〔教育目的〕 建学の精神、教育理念に基づき、以下の教育目的を掲げている。 【看護学科】 幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と援助的人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する。看護専門職として、将来にわたり、永続的に自己成長、自己研鑽を続けていくための資質や能力を養うことができるような教育を展開し、看護学学士課程としての学修成果を得た看護師を育成することを目指している。 【リハビリテーション学科】 幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と援助的人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する。 【診療放射線学科】 放射線医療の高度化や多様化に対応するため、基礎的な知識と技能の習得に加えて、医療現場に携わる職業人として求められる幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観、的確な対人関係の形成や他者との協調と協働力を身につけた職業人を育成する。また、継続的な自己研鑽力や自主的に学び、考え、行動する研究能力を身につけた職業人を育成することを目的としている。 【臨床検査学科】 幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と援助的人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する。

【臨床工学科】

幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と援助的人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識及び技術と専門職業人としての態度を教授する。

卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる）

<https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml> 「シラバス」

（概要）

【看護学科】

本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位（125単位以上）を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

〔ディプロマ・ポリシー〕

看護学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、対象者に必要な看護を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、看護学を発展させる能力

【リハビリテーション学科】

本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位（理学療法学生専攻：126単位以上、作業療法学専攻：128単位以上）を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

〔ディプロマ・ポリシー〕

リハビリテーション学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
- 4-1. 対象者の運動機能を改善するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な理学療法を提供できる能力（理学療法学生専攻）
- 4-2. 対象者の主体的な生活を支援するために、科学的根拠に基づき、効果的で安全な作業療法を提供できる能力（作業療法学専攻）
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、理学療法学生専攻・作業療法学を発展させる能力

【診療放射線学科】

本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位（128単位以上）を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

〔ディプロマ・ポリシー〕

診療放射線学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、放射線の画像診断と放射線治療を提供できる能力

5. 科学的思考をもって主体的に学修し、診療放射線学を発展させる能力

【臨床検査学科】

本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位（128単位以上）を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

[ディプロマ・ポリシー]

臨床検査学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に貢献する資質
2. 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
3. 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
4. 科学的根拠に基づき、良質な臨床検査を提供できる能力
5. 科学的思考をもって主体的に学修し、臨床検査学を発展させる能力
6. 臨床検査室の品質マネジメントシステムの構築および実践できる能力

【臨床工学科】

本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位（124単位以上）を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

[ディプロマ・ポリシー]

臨床工学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 相手を思いやる豊かな人間性を有し、科学的な思考力を基に共生社会の発展に貢献する資質
2. 適切なコミュニケーション能力、協調する力を身につけ、常に患者を意識し他職種との医療従事者と連携・協働ができる能力
3. 臨床工学の専門的な知識や技術を身につけ、多様化・高度化する医療機器の適切な操作や安全に管理できる能力
4. 工学的な研究の基礎を身につけた能力
5. 生涯にわたり自己研鑽する意欲と自己学修力を身につけている

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページによる）

<https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml> 「シラバス」

(概要)

【看護学科】

教育課程の編成は、看護の対象である「人間」を理解するために必要な知識、学生の人間の成長に必要な知識を学ぶ「基礎教育科目」、看護学に不可欠な保健医療福祉の基礎知識を学ぶ「専門基礎教育科目」、看護学の知識・技術を学ぶ「専門教育科目」の三領域で編成している。

カリキュラムの各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。

なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の順序性と連続性、関連性を重視し、教育科目の開講年次および前期、後期への配分についても、これらのことを十分に考慮して配置している。

[カリキュラム・ポリシー]

看護学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、演習、ゼミナール等の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働し、社会に貢献できる能力を育成するために、「社会と健康支援」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「健康と疾病」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
4. 高度で専門的な看護の実践能力の育成のため、看護の基本、対象の特徴と看護実践、看護の統合学習について学ぶ専門教育科目を配置する
5. 将来の看護職業人としての自覚を持ち、保健医療福祉に関わる人々と有機的に連携・協働して働くための豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【リハビリテーション学科】

教育課程の編成は、教育目的を達成するための人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」「専門基礎教育科目」「専門教育科目」の三領域で編成している。また、理学療法士・作業療法士の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、選択科目を多く開講し、リハビリテーション学科で掲げた人材育成に必要な科目を配置している。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。

なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視しています。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置している。

〔カリキュラム・ポリシー〕

リハビリテーション学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、演習、ゼミナール等の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するために、「保健医療福祉とリハビリテーションの理念」について学ぶ専門基礎科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた理学療法・作業療法の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能および心身の発達」、「疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進」について学ぶ専門基礎科目を配置する
- 4-1. 対象者の運動機能の改善を目的とした、高度で専門的な理学療法の実践能力育成のため、理学療法評価法および治療法について学ぶ専門教育科目を配置する（理学療法学専攻）
- 4-2. 対象者の主体的な生活を支援することを目的とした、高度で専門的な作業療法の実践能力育成のため、作業療法評価法および治療法について学ぶ専門教育科目を配置する（作業療法学専攻）
5. 豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【診療放射線学科】

教育課程の編成は、教育目的を達成するための人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域で編成している。また、診療放射線技師の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、診療放射線学科で掲げた人材育成に必要な選択科目を配置している。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教育科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。

なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視している。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置している。

[カリキュラム・ポリシー]

診療放射線学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、実験・実習、演習の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するために、「保健医療福祉と診療放射線」について学ぶ専門基礎科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた診療放射線の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「保健医療における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術」について学ぶ専門基礎科目を配置する
4. 高度で専門的な診療放射線の実践能力を育成するため、診療放射線検査法、放射線治療法、放射線安全管理法について学ぶ専門教育科目を配置する
5. 豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【臨床検査学科】

教育課程の編成は、教育目的を達成するための人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門科目」の三領域で編成している。また、臨床検査技師の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、臨床検査学科で掲げた人材育成に必要な科目を配置している。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。

なお、教育課程編成には、「基礎教育科目」→「専門基礎教育科目」→「専門教育科目」において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視している。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置している。

[カリキュラム・ポリシー]

臨床検査学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、実習、演習の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

1. 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
2. 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するため、「保健医療福祉と医療検査」について学ぶ専門基礎科目を配置する
3. 科学的根拠に基づいた臨床検査の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能」、「医学検査の基礎とその疾病との関連」、「医療工学及び情報科学」について学ぶ専門基礎科目を配置する
4. 高度で専門的な臨床検査の実践能力、発展させる能力を育成するため、「臨床病理学」、「各臨床検査法」、「卒業研究」を学ぶ専門教育科目を配置する
5. 臨床検査室の品質マネジメントシステムの構築及び実践できる能力を育成するため

「検査総合管理学」、「医療安全管理学」を配置する

【臨床工学科】

教育課程の編成は、人材育成に必要な内容を授業科目として設定し「基礎科目」、「専門基礎科目」、「専門科目」の三領域で編成している。また、臨床工学技士の養成施設としての指定規則要件を充足しつつ、臨床工学科で掲げた人材育成に必要な科目を配置している。

教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎科目」と「専門基礎科目」、「専門科目」の三領域に配置した各教科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。

なお、教育課程編成には、「基礎科目」→「専門基礎科目」→「専門科目」において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関係性を重視している。教育科目の開講年次および前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置している。
[カリキュラム・ポリシー]

本学科では、大学の基本理念に基づき、人間を尊重する態度とチーム医療の一員として必要な高い倫理観を持ち、専門分野の基礎・基本となる知識及び技術を高めることで、医療機器を適切に操作できる確かな実践力と態度を身に付け、医療安全の確保と医療機器を用いた質の高い診療支援ができる臨床工学士の育成を教育研究上の目的とする。

また、臨床工学分野に関する学術研究の発展に寄与できる人材を育成するために、工学的な研究の基礎を修得したうえで医療機器の操作や安全管理における現象の解明や真理を発見するための実践力を磨くことで、臨床工学を学問として追及できる科学的思考と問題解決能力を有した人材育成を目指す。

1. 豊かな人間性を持ち、科学的思考力を基に共生社会の発展に貢献できる医療人材の育成のため適切なコミュニケーション能力や協調性、科学的思考力の修得を目的として、基礎教育科目である「人間と生活」、「科学的思考の基盤」の必修および選択科目を学修して、高い倫理観と人間力を醸成する科目を配置する
2. チーム医療において、常に患者を意識して最善の医療を提供するためには、医学と工学を総合的に理解した医工学のスペシャリストとして他職種と連携・協働することが必要であり、その基盤を形成するために「臨床工学に必要な医学的基礎」、「臨床工学に必要な医療情報学とシステム工学の基礎」、「生体機能代行技術学」、「医用安全管理学」について学ぶ専門基礎教育科目、専門教育科目の科目を配置する
3. 医療機器の適切な使用のために専門的な知識と技術を修得し、幅広い領域において医学的、または科学的根拠に基づいた良質な診療支援技術を提供できる人材育成のために、「人体の構造と機能」、「臨床工学に必要な医学的基礎」および「関連臨床医学」、「医用機器学」、「生体機能代行技術学」について学ぶ専門基礎教育科目、専門教育科目の科目を配置する
4. 多様化・高度化する医療機器の安全使用を確保することで、医療安全の推進に寄与できる知識と技術を持った人材育成のために「臨床工学に必要な医学的基礎」、「医用生体工学」、「医用安全管理学」、「医用機器学」、「生体機能代行技術学」について学ぶ専門基礎教育科目、専門教育科目の科目を配置する
5. 医療機器の効果的な活用や安全使用など臨床工学分野で直面する課題を発見し、科学的に解明するための能力を磨くため、「科学的思考の基盤」、「臨床工学に必要な理工学的基礎」、「臨床工学に必要な医療情報学とシステム工学の基礎」、「医用生体工学」、「医用機器学」、「医用安全管理学」などの科目により工学的な研究の基礎を身に付けたうえで「卒業研究」を必修科目とすることで医療機器に関連した課題について新たな知見を発見するための研究を遂行する
6. 常に発展し続ける医療機器を管理する臨床工学技士には、生涯にわたり学修を継続することが必要であり、自ら主体的な学びの意欲を引き出すためのアクティブ・ラーニングを実践するため、「プロジェクトスキルⅠ」、「プロジェクトスキルⅡ」、「チーム医療」、「臨床実習」および「卒業研究」を配置して段階的に学びの価値を追求

する

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる）

<https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml> 「シラバス」

（概要）

【看護学科】

〔アドミッション・ポリシー〕

看護学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

1. 看護学を学ぶために必要な基礎学力を持ち、看護学の学修に意欲と熱意を持つ人
2. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
3. 人の健康に関心を持ち、地域の保健医療福祉、社会に貢献する意志のある人
4. 人に関心を持ち、あたたかい心で人とコミュニケーションができる人
5. 知的好奇心を持ち、探究心と想像力で自ら学ぶ意欲を持つ人
6. 基本的生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人

【リハビリテーション学科】

〔アドミッション・ポリシー〕

リハビリテーション学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲のある人材を求める。

1. 理学療法士・作業療法士を志している人
2. 理学療法学・作業療法学を学ぶために必要な基礎学力のある人
3. 基礎的コミュニケーション能力を有している人
4. 他者を思いやる心がある人
5. 何事にも根気強く臨み、責任を持って最後までやりとげる人
6. 基本的生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人
- 7-1. 人の運動や動作のメカニズムに関心を持っている人（理学療法学専攻）
- 7-2. 人の生活を専門的な視点から支援し、社会に貢献したいと思っている人（作業療法学専攻）

【診療放射線学科】

〔アドミッション・ポリシー〕

診療放射線学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

1. 診療放射線技師を志している人
2. 診療放射線学を学ぶために必要な基礎学力のある人
3. 基礎的コミュニケーション能力を有している人
4. 思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
5. 知的好奇心を持ち、探究心と想像力で自ら学ぶ意欲を持つ人
6. 基本的生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人

【臨床検査学科】

〔アドミッション・ポリシー〕

臨床検査学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

1. 臨床検査技師を志し臨床検査学の学修に意欲的に取り組むことができる人
2. 臨床検査学を学ぶために必要な基礎学力のある人

3. 基礎的なコミュニケーション能力を有している人
4. 他者の意見や考え方に触れ、自らの意見を整理し表現するための思考力・判断力・表現力を有している人
5. 基本的な生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人

【臨床工学科】

[アドミッション・ポリシー]

本学科では、養成する人材像として①豊かな人間性を備え、倫理観や責任感をもった人材、②チーム医療の一員として倫理観や責任感をもち、医療に貢献できる、③専門性の高い医療機器を適切に操作できる、④多様化、複雑化する医療機器を安全に管理できる、⑤科学的に臨床工学を追究できる人材を掲げ、この人材育成を達成するため、どのような能力を身につければ学位を授与するのかを定めたディプロマ・ポリシーを掲げ、ディプロマ・ポリシーを達成するための教育内容や教育方法を定めたカリキュラム・ポリシーを掲げて教育課程を編成した。養成する人材像やディプロマ・ポリシーに定める修得を目指し、カリキュラム・ポリシーに定める教育を受けるための条件として、臨床工学科のアドミッション・ポリシーは以下のとおりとする。

1. 他者を思いやる心、相手の立場に立って物事を考えられることができる人
2. 基本的なコミュニケーション能力を有している人
3. 学ぶ意欲や挑戦する意欲があり、主体的に学修する意思がある人
4. 基本的な生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人
5. 高等学校等において能動的に幅広く学び、入学後の学修に必要な基礎学力を身に付けている人

<p>学部等名 総合福祉学部</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページによる） https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=121 「学則」 https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml 「シラバス」</p>
<p>(概要) 「学則」 〔目的〕 本学は、教育基本法及び学校教育法並びに建学の精神に基づき、深く専門の学術を教授及び研究し、人間尊重を基盤とした医療人を育成して、社会の発展に寄与するとともに人々の健康及び生活の向上に貢献することを目的とする。</p> <p>〔総合福祉学部及び学科の教育上の目的〕 生命の尊厳の理念に基づき、豊かな感性と教養で人間性を高め、高度な知識と技術を学修し、倫理的及び論理的な実践力で、地域医療に貢献する医療人を育成する。</p> <p>「シラバス」 〔教育目的〕 建学の精神、教育理念に基づき、以下の教育目的を掲げている。</p> <p>【介護福祉マネジメント学科】 本学科は、利用者の立場に立ち、直接の介護を遂行するだけではなく、福祉・介護サービス全般についての広範な知見・技能を有し、複合的な生活課題に対する適切な介護過程が遂行できる人材を養成する。加えて、複雑化・多様化・高度化する生活ニーズに見合ったサービスが、切れ目なく効率的に提供でき、かつ多様な介護人材のマネジメントや社会福祉施設・医療機関等の運営管理能力を有した人材を養成することを目指す。</p> <p>【ソーシャルワーク学科】 本学科は、地域共生社会構築に向けて、保健・医療・福祉・介護・就労・教育等に関わる専門的知識を修得し、多職種連携のもとで、ソーシャルワークが実践できる人材を養成することを目指す。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページによる） https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml 「シラバス」</p>
<p>(概要) 【介護福祉マネジメント学科】 本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位(124単位以上)を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。 〔ディプロマ・ポリシー〕 介護福祉マネジメント学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間を尊重する態度と高い倫理観を養い、人間を統合的な存在として理解する能力を身につける 2. 利用者のアセスメントから生活課題を明らかにして、介護計画を作成、実施、評価ができ、それを他の介護職に指導できる能力を身につける 3. 介護計画の作成・実施において、多職種等と協働して支援する能力を身につける 4. 介護職員のリーダーとして、チームで介護業務を遂行していくことができる能力を身につける 5. 社会福祉施設・医療機関等の運営管理、サービスの維持や開発に関わることができる能力を身につける

【ソーシャルワーク学科】

本学に4年以上在学し、所定の授業科目及び単位(124単位以上)を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

[ディプロマ・ポリシー]

ソーシャルワーク学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に以下の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

1. 人間を尊重する態度と高い倫理観を養い、人間を統合的な存在として理解する能力を身につける
2. 保健・医療・福祉・介護・就労・教育等に関わる専門的知識や技術に関する能力を身につける
3. 利用者主体の生活支援として、ソーシャルワークの展開過程を実施できる能力を身につける
4. 利用者やその家族等の生活課題をアセスメントし、支援計画を作成・実施(個別支援・集団支援)する能力を身につける
5. 地域の生活課題をアセスメントし、支援計画を作成・実施(地域支援)する能力を身につける
6. 個別支援・集団支援から地域支援へ、地域支援から個別支援・集団支援への連続した支援ができる能力を身につける

教育課程の編成及び実施に関する方針(公表方法:ホームページによる)

<https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/pk/pkx003/Pkx00301.xhtml> 「シラバス」

(概要)

【介護福祉マネジメント学科】

教育課程の編成は、本学の基本理念、「介護福祉マネジメント学科の養成する人材像」及び教育目標を達成するために、教育課程を「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の3区分で編成し、大学教育を修めた社会人として必要な基礎知識とともに、福祉や医療分野で働く専門職に求められる知識・技術の修得を目指し、さらには、ケーススタディ(CS)や問題解決型学習(PBL)を通じて、より実践に基づいた高い実践力を育てることを目指している。

基礎教育科目は、人権や多様な個性を尊重し、利用者が主体的に関わる能力を育成するために、土台となる基礎知識と豊かな人間性を養うことを重視した科目を配置し、「人間と文化」、「人間と社会」、「健康科学」及び「語学」に分類した。

専門基礎教育科目は、保健・医療・福祉の専門性を持つために必要な基礎知識や技術・ICF(国際生活機能分類)の視点、他職種との連携、地域での実践及び福祉や医療等の情勢、経営や管理運営の基礎を学ぶための科目を配置した。本科目は、専門教育科目の理解につなげることを目的としている。その中で「社会福祉の基礎」「経営の基礎」に分類した。専門教育科目は、介護・福祉で求められる知識と技術を修得するための科目を配置した。

[カリキュラム・ポリシー]

1. 人権や多様な人間性を尊重し、主体的に関わる能力を育成するために基礎となる知識と豊かな人格を涵養することを重視した科目を基礎教育科目に配置する
2. 包括的・重点的支援に必要な専門職の知識を修得させるため、「社会福祉の基礎」及び「経営の基礎」に関する科目を専門教育科目に配置する。
3. 専門職のための技能を修得するための専門教育科目を配置する
4. 主体的に学べるケーススタディ、問題解決型学習などのアクティブ・ラーニングを用いて、実践力を育てる
5. 学習成果の評価は、学力3要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を原則とし、5段階の評価で示す

【ソーシャルワーク学科】

教育課程の編成は、本学の基本理念、「ソーシャルワーク学科の養成する人材像」及び

教育目標を達成するために、教育課程を「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の3区分で編成し、大学教育を修めた社会人として必要な基礎知識とともに、福祉や医療分野で働く専門職に求められる知識・技術の修得を目指し、さらには、ケーススタディ（CS）や問題解決型学習（PBL）を通じて、より実践に基づいた高い実践力を育てることを目指している。

基礎教育科目は、人権や多様な個性を尊重し、利用者が主体的に関わる能力を育成するために、土台となる基礎知識と豊かな人間性を養うことを重視した科目を配置し、「人間と文化」、「人間と社会」、「健康科学」及び「語学」に分類した。専門基礎教育科目は、保健・医療・福祉の専門性を持つために必要な基礎知識や技術、ICF（国際生活機能分類）の視点、多職種との連携、地域での実践及び福祉や医療等の情勢、経営や管理運営の基礎を学ぶための科目を配置した。本科目は、専門教育科目の理解につなげることを目的としている。その中で「社会福祉の基礎」「経営の基礎」に分類した。専門教育科目は、ソーシャルワークで求められる知識と技術を修得するための科目を配置した。「ソーシャルワークの理論と方法」及び「管理運営の実践」において、知識・技術を学び、「ソーシャルワーク演習」においては演習を通して知識と技術を統合し、「ソーシャルワーク実習」ではこれまで学んだものを、実践できるよう具体化していくのが目的である。さらに「総合科目」として、マネジメントケーススタディとなる「基礎演習」、「専門演習Ⅰ」、「専門演習Ⅱ」の3科目（6単位）を必修とし、「卒業研究」（4単位）は選択科目とする。体験学修や事例検討などを行うことで高い実践力を育てることを目指す。

〔カリキュラム・ポリシー〕

ソーシャルワーク学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、実習、演習を組み合わせ、科目に適した形態の授業を編成している。

1. 人権や多様な人間性を尊重し、主体的に関わる能力を育成するために、基礎となる知識と豊かな人格を涵養することを重視した科目を基礎教育科目に配置する
2. 包括的な支援に必要な専門職かつチームの一員として、社会福祉と経営の基礎に関する科目を専門基礎教育科目に配置する
3. 福祉サービスを必要とする人の支援を可能とするため、ソーシャルワーク及び経営に関する科目を専門教育科目に配置する
4. ケーススタディ（CS）や問題解決型学習（PBL）を通して、アクティブ・ラーニングによる問題解決プログラムに関する科目を配置する
5. 学習成果の評価は、学力3要素「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を原則とし、5段階の評価で示す

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページによる）

<https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml> 「シラバス」

（概要）

【介護福祉マネジメント学科】

〔アドミッション・ポリシー〕

介護福祉マネジメント学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める

1. 介護福祉に関わる専門的知識を学べる基礎学力を有する人
2. 差別や偏見をなくし、地域共生社会の実現のために貢献したいと思う人
3. 自立困難な人や生活のしづらさを抱えている人の人生を豊かにできる人
4. 社会福祉施設、医療機関等の組織の経営、運営管理について論理立てて考える力がある人
5. 新しいソーシャルビジネスやサービスを開発・企画することを論理立てて考える力がある人

【ソーシャルワーク学科】

〔アドミッション・ポリシー〕

ソーシャルワーク学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める

1. 保健・医療・福祉に関わる専門的知識を学べる基礎学力を有する人
2. 差別や偏見をなくし、地域共生社会の実現のために貢献したいと思う人
3. 自立困難な人や生活のしづらさを抱えている人の人生を豊かにできる人
4. 社会福祉施設や医療機関等の支援システムの運営管理に関心のある人
5. 本人や地域の課題解決について考える力がある人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページによる

<https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=121> 「教育研究上の基本組織・構成図に関する事項」

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	1人	—					1人
保健医療学部	—	38人	14人	27人	17人	3人	99人
総合福祉学部	—	8人	4人	3人	4人	0人	19人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		154人					154人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページによる https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=144 (看護学科) https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=147 (リハビリテーション学科 理学療法専攻) https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=148 (リハビリテーション学科 作業療法専攻) https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=146 (診療放射線学科) https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=241 (臨床検査学科) https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=281 (臨床工学科) https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=287 (介護福祉マネジメント 学科) https://www.jhu.ac.jp/faculty/page.php?id=294 (ソーシャルワーク学科)					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
保健医療学部	490人	493人	100.6%	1,460人	1,508人	103.3%	0人	0人
総合福祉学部	120人	13人	10.8%	120人	13人	10.8%	0人	0人
合計	610人	506人	83.0%	1,580人	1,521人	96.3%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保健医療学部	181人 (100%)	8人 (4.4%)	158人 (87.3%)	15人 (8.3%)
総合福祉学部	0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)

合計	181人 (100%)	8人 (4.4%)	158人 (87.3%)	15人 (8.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
<p>授業科目、授業の方法等については、教務委員会及びカリキュラム委員会において検討し、全ての学科の授業の概要、対応するDP、到達目標、授業計画、成績評価方法、教科書・参考文献、授業時間外学修（予習・復習）の内容・分量、実務経験者を明記したシラバスを作成している。</p> <p>シラバスは、前年度末までに作成し、学生に配布するほか、HPにも掲載している。</p> <p>授業科目、授業方法及び内容並びに年間の授業計画に関してはシラバスに明記し、ホームページに掲載</p> <p>https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml 「シラバス」</p>

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)
<p>学修の成果にかかる評価は、成績評価において全ての学科でGPA制度を導入していることを「CAMPUS GUIDE2022」で学生に周知するとともに、学生表彰（HPに掲載）を行う際にも活用している。</p> <p>「GPA等の客観的な指標の設定」については、各学生の成績が学生の所属する学科の中でどの位置にあるかを把握することができるよう、各学生の履修科目の平均成績を客観的な指標（GPA）を用いて表している。</p> <p>GPAは、評価基準に基づく成績を一定の数値に換算し、各学生の単位数や履修登録単位数を勘案して算出している。</p> <p>学生が学年ごとに適切に学修できるよう履修の上限単位（CAP制）を導入している。</p> <p>卒業の認定に当たっては、学科ごとにDP（ディプロマ・ポリシー）を策定し、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中にDPに定めた資質や能力を培った者に卒</p>

業を認め、学士の称号を与える旨をシラバス（HPにも登載）に明記している。
卒業認定については、教務委員会において検討し、教授会に意見を求めたうえ、学長が決定している。

■成績評価方法やGPA制度の導入については、シラバス、キャンパスハンドブック、HPに登載

■卒業認定については、DPを策定し、シラバス、ホームページに登載

<https://unipa.jhu.ac.jp/uprx/up/px/pkx003/pkx00301.xhtml> 「シラバス」

学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
保健医療学部	看護学科	125単位	有・無	単位
	リハビリテーション学科	126～128単位	有・無	単位
	診療放射線学科	128単位	有・無	単位
	臨床検査学科	128単位	有・無	単位
	臨床工学科	124単位	有・無	単位
総合福祉学部	介護マネジメント学科	124単位	有・無	単位
	ソーシャルワーク学科	124単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページによる	
キャンパスマップ	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=32
施設設備	https://www.jhu.ac.jp/disclosure/page.php?id=33
関連グループ	https://www.jhu.ac.jp/about/page.php?id=139
チーム医療	https://www.jhu.ac.jp/team_medical/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
保健医療 学部	看護学科	1,500,000円	300,000円	100,000円	その他：施設費
	リハビリテーション学科	1,500,000円	300,000円	100,000円	その他：施設費
	診療放射線学科	1,500,000円	300,000円	100,000円	その他：施設費
	臨床検査学科	1,500,000円	300,000円	100,000円	その他：施設費
	臨床工学科	1,500,000円	300,000円	100,000円	その他：施設費
総合福祉 学部	介護福祉マネジメント学科	1,000,000円	300,000円	—	
	ソーシャルワーク学科	1,000,000円	300,000円	—	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>[チューター制]</p> <p>本学は、チューター制をとっており、チューターは、修学、進路、健康、ハラスメントや経済的なことなど、学生生活全般に対して、最も身近な相談相手・助言者として、質問や相談に応じている。</p> <p>[オフィスアワー制度]</p> <p>学生と教員が自由に交流できるよう、教員が定時に待機するオフィスアワーを設けている。学修についてはもちろん、学生生活全般にわたって教員に相談できる時間として有効に活用できる。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>キャリアセンターにおいて、進路選択相談(キャリアプラン講座)、就職活動支援(履歴書の書き方や面接指導)等の取組みを実施している。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>カウンセリングルームに臨床心理士を配置(週2回)し、学生がより充実した学生生活を送れるようサポートしている。</p> <p>また、保健室にも看護師を配置し、学生の健康管理をサポートしている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：ホームページによる</p> <p>https://www.jhu.ac.jp/disclosure/ 「情報公開」、「大学の教育研究上の目的に関する事項」</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	F101310100365
学校名	日本医療大学
設置者名	学校法人日本医療大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		193人	3人	193人
内 訳	第Ⅰ区分	101人	0人	
	第Ⅱ区分	58人	2人	
	第Ⅲ区分	34人	1人	
家計急変による支援対象者（年間）				3人
合計（年間）				196人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	12人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	12人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	24人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	26人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	26人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。